

2015年(平成27年)12月21日(月曜日)

アイスピグ  
管内洗浄工法

## 宮城で相次ぎ採用 下水長距離送管 短時間で機能回復

管内の汚れや夾雜(きょうざつ)物で送水機能が著しく低下した宮城県内の下水長距離圧送管の洗浄に、短い作業時間で大きな効果が得られる「アイスピグ管内洗浄工法」が相次いで採用された。東亜グラウト工業が受注した案件で、9日に登米市、15日に大和町で下水圧送管の洗浄作業を実施し、短時間で送水機能の回復を図った。いずれも、特殊シャーベットの管内注入から、アイスピグの形成・押し流しました。

登米市では、津山町横山細屋付近のマンホールポンプの下水圧送管(管径150ミリ、延長約400メートル)を対象に実施した。

登米市では、津山町横山細屋付近のマンホールポンプの下水圧送管(管径150ミリ、延長約400メートル)を対象に実施した。

登米市では、津山町横山細屋付近のマンホールポンプの下水圧送管(管径150ミリ、延長約400メートル)を対象に実施した。

登米市では、津山町横山細屋付近のマンホールポンプの下水圧送管(管径150ミリ、延長約400メートル)を対象に実施した。

登米市では、津山町横山細屋付近のマンホールポンプの下水圧送管(管径150ミリ、延長約400メートル)を対象に実施した。

管に接続する下水圧送管で、下流側の吐き出し口付近には2カ所の伏せ越し部があり、夾雜物が堆積しやすい構造となっており。配管は、整備から約12年がたち、油分を含むスカム(浮上泥土)が付着するなどし、流量が低下している。上流側の自然流下管からの流入量が多くなると、汚水が貯留槽の水位を上昇させて水位

幕柳十王沢の下水圧送管市は、常時運用中の長距離圧送管の洗浄を下水管の利用者に不便をかけることなく実施するには、高圧洗浄、ピグ玉を

アイスピグ管内洗浄工法は、英プリリストル大学で発明された圧力管路洗浄技術。特殊アイスピグでつくるビグエット(洗浄のための挿入物)を、配管内の汚れをソフト

せられた。

市は、常時運用中の長

距離圧送管の洗浄を下

への影響がない。従来の

ピグ工法と異なり詰まる

ことがなく、口径の変化

やカーブにも追従して管

内をくまなく洗浄する。

登米市などと同様の下

水管洗浄の課題を抱える

地方自治体が多数あり、

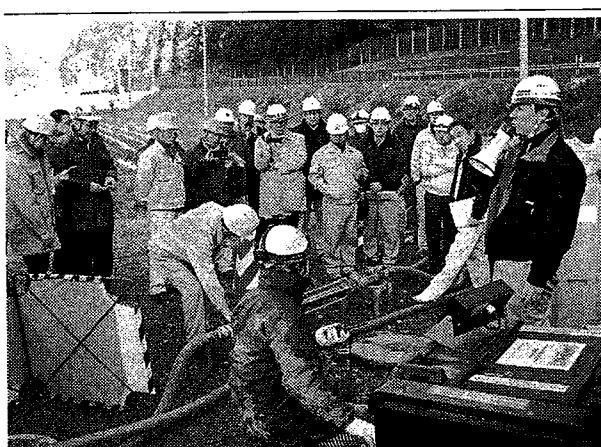
公開で行われた今回の洗

浄作業には、周辺市町か

ら多数の関係者が集まつた。このほか、青森県むつ市の水道施設担当者も

参考に派出する。水を材料と

するため管や人体・環境



登米市での洗浄作業には周辺市町から多数の見学者が訪れた